

授業日	4/26(火)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
学習目標	逆説的（パラドキシカル）な見方ができるようになる (権威・常識を疑うことができるようになる)		
時間 授業内容	45 分 45 分	<p>◇「懐疑的」という語彙を習得し、様々な権威・常識に対して懐疑的になれることが目標であると自覚する。</p> <p>◇ワークシート②に記入しながら、逆説の意味と具体例を確認する。</p> <p>◇藤原智美『検索バカ』（朝日新書・2008 年 10 月 10 日）によって、現代人が日常的に当然のように行っている「検索」に対して懐疑的な姿勢を身につける。</p> <p>◇マックス・ボルン『原因と偶然の自然哲学』（みすず書房・1984 年 3 月 12 日）によって、必然が偶然の上位に位置づけられるという常識に懐疑的な姿勢を身につける。</p>	
評価方法	<p>◇「逆説・パラドックスの意味を確認する」宿題に対して、複数の辞書を検索して辞書による定義の相違などに目を向ける姿勢があるかどうかを評価基準とする。</p> <p>◇各自が探してきた「逆説・パラドックス」が、インターネット等で検索したものでなく、自身の生活・経験の中から導いたものを高く評価する。</p>		
宿題指示	<p>◇各自が持っている辞書で、「逆説」「パラドックス」の意味を確認しておく。</p> <p>◇授業で紹介した「急がば回れ」「安物買いの銭失い」以外のパラドックスの具体例を探してくる。</p>		